

活動方針	活動点検・評価
<p><b>1. 民際支援事業</b></p> <p>アジアの人々の生活向上と自立のための活動を支援・連携していきます。</p> <p>1) 支援事業をすすめるため、必要な講座へ参加し理解を深めます。</p> <p>2) アジアの女性たちの生活向上に寄与することを目的として、フェアトレード品を継続して扱います。</p> <p>3) 海外NGO、国内NGOのプロジェクト支援をおこないます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じ緊急支援に取り組みます。</li> </ul>	<p><b>1. 民際支援事業</b></p> <p>1) 総会後にWE講座を開催し、支援先の福島の「たらちね」理事の木村さんの「フクシマの今」というお話を伺うと共に放射能検査にかかわる冊子の提供をうけ、より現地への理解が進みました。</p> <p>2) フェアトレード品を継続して取り扱っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・11/6日、7日にフェアを実施し、ジンジャーティーとコーヒーの試飲をしました。2日間のトレード品の売り上げは8,810円でした。事務局の依頼で12月に臨時でジンジャーティーを10パック仕入れましたが、売れ行きは順調です。</li> <li>取扱品目：コーヒー、ジンジャーティー、ヘナカレールー</li> </ul> <p>3) ・トルコ地震の被災地支援の募金8,858円と民際支援金の1,142円の合計1万円を追加支援しました。(被災地支援をしているセーブ・ザ・チルドレンへ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9月に「たらちね」より海洋調査の費用の支援依頼があり、1万円を寄付しました。</li> <li>・WE21 ジャパン 25周年記念寄付キャンペーン「WE21を次の25年も続けたい！～設立記念寄付キャンペーン～」に3万円の寄付を実施しました。</li> <li>・共同の家プアンより建物の購入をせざるを得ない状況になったため、購入費の半額の1千万円の寄付を募ることになったとの寄付協力依頼文書が届きました。運営委員会で討議した結果、20万円の寄付を実施しました。</li> <li>・能登半島地震の被災者支援として緊急支援を実施しました。</li> </ul> <p>能登被災地で活動をしている医療ボランティア団体の「ジャパンハート」へ5万円、また、店頭募金の2万円を含めて10万円を子どもの支援活</p>

<p>4)10月の世界貧困撲滅デーに向けた取り組みをします。</p> <p>5)3.11を忘れないキャンペーンを実施して東日本大震災の被災者に思いを寄せると共に、店頭で現状のアピールを続けていきます。</p> <p>6)12月にレインボーキャンペーンを実施します。</p>	<p>動をしている「セーブ・ザ・チルドレン」への寄付を実施し、被災地支援に生かしてもらいました。</p> <p>4)・10/2より10/17まで店内掲示をしました。 10/17には店頭で「みんなで布チョッキン」(注1)を実施し、切った布をCYRに送りました。(人形2体、ボール 大4個、小2個、寄付は5千円) 当日の売り上げの21,690円と店頭募金の3,310円と布チョッキンの寄付5千円の合計3万円をCYRに寄付しました。 ・9月のボランティアミーティングで事前学習と「みんなで布チョッキン」を実施しました。</p> <p>5)3.11を忘れないキャンペーンを実施し、被災地支援の継続をアピールしました。 当日の売り上げ分と店頭募金分等を含めて、131,000円を被災地で放射能線量の測定を続けている、「NPO法人市民測定室たらちね」に寄付をしました。(内訳 店頭募金12,670円、当日の売り上げ金の寄付18,330円、助成金10万円) また、被災地宮城県の海産物販売を年間通して実施し、好評です。</p> <p>6)フェアトレードフェア終了後に店内掲示とA看板等でフィリピンの子どもたちにクレヨンを寄付する「レインボーキャンペン」についてお知らせをし、募金を募りました。店内募金4,722円と民際協力金を合わせて5千円を現地に送ることになりました。募金等は2月にフィリピンにスタディツアーに行かれるWE21旭のメンバーに託しました。</p>
<p><b>2. 資源のリユース・リサイクルを推進する事業</b></p> <p>1) チャリティーショップ「WEショップやまと」の運営をします。 ショップスタッフを探しながらボランティアと連携し、ショップ運営に責任をもちます。</p> <p>2) リメイクが好きなボランティアを中心にリメイク文化を広げます。</p>	<p><b>2. 資源のリユース・リサイクルを推進する事業</b></p> <p>1) 6月の運営委員会で年間計画を立てて、ショップ運営を行いました。 毎月開催している運営委員会の中で、その時々課題に取り組みました。</p> <p>2)・リメイクフェアを3月25日～27日で実施しました。桜の開花が遅れ、フェア中も悪天候でした。</p>

<p>3) 廃食油の回収に取り組みます。</p> <p>4) 同じ目的をもって地域で活動している他のローカル組織と連携し、リユース・リサイクル事業をすすめていきます。</p> <p>5) プリン石けん作りを通して、環境に優しい暮らしを提案していきます。</p> <p>6) 12月の設立記念日を記念して「お客様感謝デー」のイベントを実施します。</p>	<p>フェア後もリメイク品の展示を継続し、売り上げを伸ばすことができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆかたで作ったパンツが好評でした。</li> <li>・リメイク品の提供が多くなっています。</li> </ul> <p>3) 毎月回収し、今年度の回収量は260kgとなりました。</p> <p>4) ・他ショップが必要としていた和物をトレード品として5箱送りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県央エリアのスタッフ会議で情報交換をし、運営に生かしました</li> </ul> <p>5) 昨年作成したプリン石けんを9月から店頭での販売を開始しています。</p> <p>6) 12/21, 22, 23日の3日間、お客様感謝デーのイベントとして、来店のお客様に雑貨をプレゼントしました。</p>
<p><b>3. 広報活動</b></p> <p>WE21 ジャパン大和の活動を広げ、理解を深めるために情報の受発信に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報紙「WEひろば」の発行 3回 各 100枚（初回は200枚）</li> <li>・ショップちらしの発行 拡大ちらしやフェア・セールチラシを感染状況を見ながら配布します。</li> <li>・ポスター、支援ニュース、パンフレット等を活用した店内掲示を充実させます。</li> <li>・会員へ「WEひろば」を発送します。（3回/年）</li> <li>・A看板を活用します。</li> </ul>	<p><b>3. 広報活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7月に「WEひろば」1回目（200枚）、11月に2回目（100枚）を、2月に3回目（150枚）を発行しました。</li> <li>・夏物半額セールチラシを作成し、店頭で配布しました。（100枚）</li> <li>・冬物半額セールチラシを2000枚印刷し、地域に配布しました。チラシの効果もあり、来店者が増え、売り上げも増えました。</li> <li>・ボランティア募集のチラシを店頭にて配布しました。</li> <li>・支援報告を書き替えて掲示しています。</li> <li>・会員へ「WEひろば」を7月、11月、2月に発送しました。</li> <li>・三つ折りチラシを作成し、新規提供者にお渡しする等活用しました。</li> <li>・A看板は季節ごとや行事のお知らせ等に活用しています。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページやInstagramの活用方法について検討すると共に広く情報を発信していきます。</li> <li>・フードドライブに参加します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページやInstagramで随時情報を発信しています。ホームページはスマホでも対応しやすいように、レイアウトを変えてもらいました。最新の情報をInstagramでお伝えすることになり、ホームページ上にInstagramのアイコンを張り付けてもらいました。</li> <li>・毎月1日にフードドライブを実施し、相模大塚のわけあい拠点の「みんなのスペースわにわに」に届けています。また、貧困撲滅キャンペーンに合わせて、10月は10/11～10/17まで期間を長くして実施しました。</li> </ul>
<p><b>4. 組織活動</b></p> <p>1) 運営委員会</p> <p>①事業活動の執行に責任を持ちます。</p> <p>②WE 21 ジャパン大和の運動を地域に広げ、会員の拡大に努めます。 目標：40人（期首会員数 39人）</p> <p>③WE 21 ジャパン及びショップ運営の充実を図り、運動を広げるためにボランティアの参加拡大をすすめます。</p> <p>2) WE 講座の開催</p> <p>WE21 ジャパン大和のあり方を学び、問題意識の向上をめざします。</p> <p>3) ボランティアミーティング</p> <p>ボランティア・ショップスタッフ・運営委員が交流し、ショップ運営や支援活動等について理解を深められるよう定例化して開催します。</p>	<p><b>4. 組織活動</b></p> <p>1) 運営委員会</p> <p>①・5/26 に桜丘学習センターにて総会を開催しました。出席者：17人 総会後にWE 講座を開催しました。 ・年間活動計画をたて、それに沿って活動を進めています。</p> <p>②会員の拡大 現在会員は37人です。加入が1人ありましたが、転居等により、3人が退会されました。</p> <p>③ボランティアの拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシを作成し、店頭で配布しました。</li> <li>問い合わせは数件あったが、参加には至っていません。</li> </ul> <p>2) WE 講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総会終了後にWE 講座「知っていますか？フクシマの今」を開催しました。</li> <li>支援先の福島の「たらちね」の活動報告をプロジェクターを使用して報告していただきました。</li> <li>講師：NPO 法人いわき放射能市民測定室たらちね 理事 木村亜衣さん 出席者 26人</li> </ul> <p>3) ボランティアミーティングの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1回目 7/19 開催 12人 テーマ：年間計画の共有他</li> <li>・2回目 9/20 開催 7人 テーマ：「貧困なくそうキャンペーン」について他</li> </ul>

<p>4) 会計の電子化に向けて準備を進めます。</p>	<p>4) 会計の電子化 会計ソフトをw e b会計から会計王に変更し、経理ワークスのアドバイスを受けて作業をすすめました。インボイス制度の対象ではないことが判りました。</p>
<p><b>5. 平和な社会の実現に向けての活動</b> さまざまな情勢を捉えながら、平和にむけた運動に取り組めます。</p>	<p><b>5. 平和な社会の実現に向けての活動</b> ・9/24 のWE 講座に 3 人が参加しました。運営委員会で内容を共有しました。 題名：「日本のかたちが変わる！～他国への武器輸出～」 講師：杉原浩司さん（武器取り引き反対ネットワーク代表）</p>
<p><b>6. 他の市民団体等との連携</b> 活動の拡大をはかるため他団体との交流に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティオプティマム福祉地域協議会大和に参加します。</li> <li>・イベントや講座へ参加します。</li> <li>・学生のボランティアを受け入れます。</li> <li>・ワーカーズ・コレクティブ協会等の就労支援事業に協力します。</li> <li>・フードドライブに参加します。</li> </ul>	<p><b>6. 他の市民団体等との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡会に参加しています。</li> <li>・11/23（木・祝）コミオプの一員としてさがみローカルSDG s のイベントに参加しました。</li> <li>・その他下記のイベントに参加しました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・10/22（日）大和ワールドフェスタ（国際化協会主催）に参加しました。</li> <li>・11/5（日）ピースフェスティバル（ピースフェス実行委員会主催）に参加しました。</li> <li>・12/17（日）カッコーフェスタ（市民活動センター主催）にパネル参加しました。</li> </ul> </li> <li>・夏休みに市民活動センターからの依頼で5人の中高生のボランティアを受け入れました。</li> <li>・座間の相模向陽館高校からの依頼で高校生1人のボランティアを受け入れました。</li> <li>・大和市からの依頼で就労支援の実習生を受け入れました。</li> <li>・ワーコレ協会からも受け入れの問い合わせがありました。</li> <li>・毎月1日に実施し、寄付された食料品をわけあい拠点に届けています。（1月は11日、10月は貧困撲滅キャンペーンにあわせて10/11～10/17まで、いつもより長めに受け付けました）</li> </ul>

<p><b>7. 企業や事業者との連携</b></p> <p>1) 社協の赤い羽根共同募金活動に参加します。</p> <p>2) イオン大和店の黄色いレシートキャンペーンに引き続き参加します。</p>	<p><b>7. 企業や事業者との連携</b></p> <p>1) 今年度の募金活動は10/18～10/31まで、店頭に募金箱を置いて実施しました。募金額は5,831円でした。 歳末たすけあい基金から5万円の寄付を受けました。</p> <p>2) イオン大和店の黄色いレシートキャンペーン 昨年度分16,100円を寄付金として頂きました。 ショップで使用する消耗品等を購入しました。 今年度の参加申し込みをしました。</p>
--	--

**\*注1 「みんなで布チョッキン」とは**

特定非営利活動法人幼い難民を考える会（略称CYR）を通じて、長く内戦が続いたカンボジアの子どもたちにボールと人形を送る活動です。

用意した布を型どおりに切って、寄付金をつけてCYRを通じてカンボジアに送ります。カンボジアの女性たちがその布を縫って、ボールや人形に仕上げます。こうした活動は、子どもたちに不足している遊具を届けると共に、カンボジアの女性たちの収入を得る機会をつくっています。